

### 避難犠牲者を出さないために

#### 災害弱者避難支援策の訓練実施

9月10日(日)に毎年恒例の大正地区総合防災訓練を各地区、各種団体等から180名程の参加のもと大正小学校校庭で実施しました。

今年度は、災害弱者とりわけ寝たきり状態の方、身体に重度の障害を有する方を対象にした避難支援の方法を訓練内容としました。



最初に、「医療法人 しまゆう」の理学療法士の方々から、車いす操作に係る基本事項、注意事項について説明があり、次いでベット上での体位変換方法そして車いすへの移乗支援方法について講習いただきました。

体に力が入らない人を要支援者当人や支援者が大きな負担なく行える方法や、車いすをいかに安全に利用するかなど分かり易い指導でした。

続いて、東部消防局救急救命士 徳沢大輔氏(古海上)から搬送方法について講習を受けました。支持・背負いの方法及び毛布や担架による搬送そして簡易担架の作成法など、サポートとして市消防団大正分団員の実演を含めての指導がありました。

その後、参加者が4ブロックに分かれ、講習内容をもとに実訓練を行い、参加者はそれぞれ要支援者役や避難支援者役となって避難支援策を体験しました。

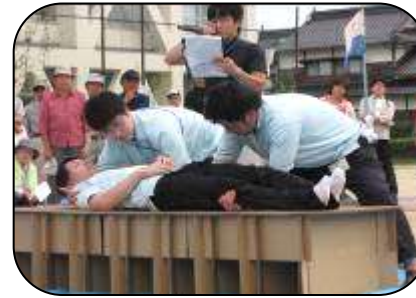
アンケート結果に見られるように、参加者の理解度は高かったようですが、60歳代以上の方が大部分とあって、支援者というより支援される側に近い立場で訓練を体験された方も多かったのではと推測されます。

各種災害において、避難は欠くことのできない行動です。大正地区では、災害時要援護者支援制度への登録について取り組みを推進しているところですが制度の内容を知っている方の割合は35%と半数にも達していません。

各地区においては同制度登録への取り組みと合わせて避難支援訓練の実施にも積極的に取り組んでいただきたいと思います。



簡易担架作成による搬送



体位変換方法  
まず手前に引き寄せて



車いすへの移乗  
注意力と体力が必要



車いす走行(坂道)  
登り前向き 下り後向き



体位変換方法  
担架用毛布を体の下に



運搬方法  
毛布を丸め4人でしっかりホールド



運搬方法  
二人で安全に搬送

### 台風シーズン到来

先般の18号台風では、野坂川の増水による浸水等の危険性が高まったとして、鳥取市は徳尾地区に「避難準備・高齢者等避難開始」の発令を出しました。

ちなみに避難所は、豊実体育館、松保体育館及び東郷体育館とされ、大正地区内には避難所設置はありませんでした。

災害後に、かつて経験したことがない、見たことがない状況が発生したとの被災者等の声を耳にします。

今回の事例は、大正地区においても災害危機は他人事ではなく、すぐ隣にあることを改めて認識させるものです。

自分の命を守るためどうするのか。命を失ってから行政など他人のせいにして手遅れです。まずは自らが助かる行動をとりましょう。

災害時は近所等で助け合う(近助)ことが必要ですが、助け合える状況をいきなり作りだすことはできません。

どうすべきか、普段の生活から心がけましょう。

大正地区では安全・安心な地域づくりを目指し  
あいさつ運動を進めています

あいさつでうまれる  
人の和 地域の輪

<まち協事業予定>

まちづくりグラウンドゴルフ大会

期日 平成29年11月12日(日)

場所 大正小学校校庭